

第 3 5 回会計検査院契約監視委員会定例会議議事概要

開 催 期 間	令和 7 年 1 月 3 1 日（金）		
場 所	Web会議開催		
出席委員氏名	委員長 松島 桂樹 （一般社団法人クラウドサービス推進機構 理事特別研究員）		
	委 員 稲生 信男（早稲田大学社会科学総合学院 教授）		
	委 員 長村 彌角（公認会計士 有限責任監査法人トーマツ パートナー）		
抽出案件	3 件	（備考） 抽出案件 3 件の審議のほかに、契約の状況、少額 随意契約の状況等について説明を行い、その後、 質疑を行った。	
（内訳）			
一般競争契約	3 件		
指名競争契約	0 件		
随意契約	0 件		
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答等	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見 の具申又は勧告の 内容	なし		

(別紙)

1. 令和6年度（上半期）における契約の状況等について 会計検査院側より、契約の状況、指名停止の運用状況、少額随意契約の状況等について説明を行った。	
2. 低入札案件の状況について 会計検査院側より、低入札案件の状況について説明を行った。	
意見・質問	回 答
欧米主要国におけるデジタル施策とそれに対する 会計検査の状況に関する調査研究業務 ・ 予定価格の妥当性の評価を行ったのか。	・ 予定価格の算定に当たっては、会計法令等に基づき、原価計算方式又は市場価格方式により算定を行っている。本調達においても同様の算定を行っており、妥当な予定価格であったと評価している。

3. 案件の審議 3件を審議した。審議の内容は次のとおりである。	
意見・質問	回 答
(1) 計算証明書類送信システムアプリケーション保守業務 (契約内容：計算証明書類送信システムの機能及び品質を維持し、本システムが適切に稼働できるよう、保守運用業務を行うもの) ・複数者の入札参加を得られた要因と考えられる、仕様やシステム構成の一般化とは、どのようなことか。	・一般的に市販されている製品や、既に普及が進んでいるサービス、技術等を仕様に取り入れる取組を指している。
(2) 決算確認システム運用業務 一式 (契約内容：決算確認システムの機能及び品質を維持し、迅速なユーザサポートを実施するなどの運用業務を行うもの) ・入札辞退者に係るアンケート調査において、仕様書の中に特定の製品を購入することとされていることが入札を辞退した理由との回答があるが、これについてはどのように考えているのか。	・特定の製品の購入が必要な仕様を作成した意図はなかったが、今後は入札への参加のハードルとならないよう、設備投資を要しなかったり、一般的に普及しているもので対応可能だったりするような仕様を積極的に取り入れていきたいと考えている。
(3) 令和6年度総合検索システム運用保守業務 一式 (契約内容：総合検索システムの機能及び品質を維持し、常時正常稼働するよう運用・保守業務を行うもの) ・低入札価格調査において、工数の節減が合理的かをどのように判断したのか。	・節減理由について聴取するとともに、明らかに不合理な金額や工数で見積もられていないかなどを確認している。
・これまでの契約と異なる事業者が低い価格で落札した場合、業務の履行が適切に実施されないリスクもあると思うが、どのような検討を行ったのか。	・クラウド化したことにより、新規参入がしやすくなったのではないかと考えている。また、今回の業務に従事することを予定している技術者の水準、履行体制や実績等から判断して、そのようなリスクは生じないと判断して契約しており、今までのところ履行状況に問題は生じていない。
4. その他	

なし	
----	--